

2010年度

科目名	運動負荷試験演習		
担当教員	島津 晃		
配当	人社2	コード	42670
開期	後期	講時	木曜日2限
		単位数	2
授業テーマ	運動負荷試験の目的と実施方法や生活習慣病に対する適切な運動療法プログラムを理解する。		
目的と概要	安静時には異常が認められず、運動することにより異常が発生する狭心症や虚血性心疾患などを発見するために試験を行う。試験を安全かつ適正に実施する方法と診断方法を身につけることを目的とするとともに生活習慣病に対する適切な運動療法の指導方法を身につける。		
成績評価法	授業取り組み姿勢(30%)、毎回の授業終了時に提出する課題(30%)、まとめとしての考査(40%)を含め総合評価。		
テキスト	健康運動指導士養成講習会テキスト下巻(財団法人健康・体力づくり事業財団)		
参考書	必要に応じ紹介する。		
履修に当たっての注意・助言	積極的な受講を期待する。授業中の私語は慎むように。		
講義計画			
1: 講義	運動負荷試験の目的、適応、禁忌、危険性と安全対策		
2: 講義	運動負荷試験の方法、中止基準、評価方法、呼吸分析		
3: 講義	心電図の基礎と記録法(安静時心電図の読み方)		
4: 講義	服薬者の運動プログラム作成上の注意		
5: 講義	生活習慣病に対する適切な運動療法(プログラム作成実習) (1) 肥満症		
6: 講義	生活習慣病に対する適切な運動療法(プログラム作成実習) (2) 高血圧症を合併する場合		
7: 講義	生活習慣病に対する適切な運動療法(プログラム作成実習) (3) 糖尿病を合併する場合		
8: 講義	生活習慣病に対する適切な運動療法(プログラム作成実習) (4) 虚血性心疾患を合併する場合		
9: 講義	生活習慣病に対する適切な運動療法(プログラム作成実習) (5) 変形性関節症を合併する場合		
10: 講義	生活習慣病に対する適切な運動療法(プログラム作成実習) (6) 腰痛症を合併する場合		
11: 実習	運動負荷試験実習(1) 血圧測定の実際		
12: 実習	運動負荷試験実習(2) 心電図測定の実際		
13: 実習	運動負荷試験実習(3) 呼吸ガス分析の実際		
14: 実習	運動負荷試験実習(4) エアロバイク、トレッドミルを用いた運動負荷試験の実際		
15: 運動負荷試験と生活習慣病の運動療法をまとめる			